



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月28日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉貴 寛良
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 鳥山 圭一 (TEL) 0564-31-2211
 定時株主総会開催予定日 2020年6月19日 配当支払開始予定日 2020年6月3日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	476,165	3.1	10,621	56.3	9,968	54.6	6,357	81.2
2019年3月期	461,705	4.8	6,797	△39.6	6,449	△41.1	3,509	△67.3

(注) 包括利益 2020年3月期 2,915百万円(94.5%) 2019年3月期 1,499百万円(△86.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	71.03	—	9.5	4.0	2.2
2019年3月期	39.22	—	5.3	2.6	1.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △143百万円 2019年3月期 17百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	253,517	76,488	26.6	753.80
2019年3月期	249,061	75,211	26.4	734.90

(参考) 自己資本 2020年3月期 67,479百万円 2019年3月期 65,756百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	34,020	△26,443	△5,572	9,370
2019年3月期	25,410	△30,961	1,489	7,541

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	894	25.5	1.4
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	895	14.1	1.3
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 2021年3月期の配当につきましては、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により現時点では合理的な算定が困難であることから、未定といたしました。当該業績予想の開示は、可能となった時点であらためて実施する予定です。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名） - 、除外 - 社（社名） -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	89,580,827株	2019年3月期	89,580,827株
② 期末自己株式数	2020年3月期	61,739株	2019年3月期	103,205株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	89,507,155株	2019年3月期	89,478,127株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	262,642	△0.5	3,927	117.3	6,304	16.7	3,914	△10.3
2019年3月期	263,845	2.7	1,807	△54.7	5,400	△38.0	4,364	△13.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	43.73		—					
2019年3月期	48.77		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	159,732		47,840		30.0	534.42		
2019年3月期	163,046		45,522		27.9	508.76		

(参考) 自己資本 2020年3月期 47,840百万円 2019年3月期 45,522百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、北米では景気の回復基調が続き、欧州においても景気は緩やかに回復してまいりました。アジア地域においては、中国では景気が緩やかな減速傾向、インドやインドネシアなどでは内需を中心に景気が緩やかに回復してまいりました。しかしながら、年度の終わりに発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全世界にて経済活動が抑制されており、足下で景気は非常に強く下押しされております。国内経済は、雇用環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が続いておりましたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、足下で大幅に下押しされ、先行きについても厳しい状況が続くと見込まれております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、日本、北米、欧州、アジア地域共に軒並み販売台数が前年同期に比べ減少しているなか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による稼働休止が続いており、サプライチェーンの混乱で影響が長引く様相となっております。

こうした状況のなか、当社グループにおいては新5ヵ年計画を策定し、「安全、品質、ものづくり」の基本を徹底し、構造改革と原価マネジメントの強化により収益確保に努めております。

当連結会計年度の業績は、売上高は4,761億円(前年度比3.1%増)となりました。利益につきましては、合理化改善や部品事業の売上増加等の増益要因により、営業利益は106億円(前年度比56.3%増)、経常利益は99億円(前年度比54.6%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は63億円(前年度比81.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は2,642億円と前年度に比べ19億円(0.7%減)の減収となりました。セグメント利益は51億円(前年度比89.7%増)となりました。

②北米

売上高は1,004億円と前年度に比べ47億円(4.5%減)の減収となりました。セグメント利益は15億円(前年度比31.6%減)となりました。

③欧州

売上高は292億円と前年度に比べ41億円(12.4%減)の減収となりました。セグメント利益は7億円(前年度は9億円のセグメント損失)となりました。

④アジア

売上高は991億円と前年度に比べ213億円(27.4%増)の増収となりました。セグメント利益は33億円(前年度比14.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産については、現金及び預金、売上債権、機械装置及び運搬具等の増加により、前連結会計年度末に比べて44億円増加し、2,535億円となりました。負債については、仕入債務等の増加により、前連結会計年度末に比べて31億円増加し、1,770億円となりました。純資産については、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に比べて12億円増加し、764億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社グループの現金及び現金同等物は、前年度末に比べ18億円増加し、93億円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動の結果、得られた資金は340億円であり、前年度に比べ86億円(33.9%増)の増加となりました。これは、税金等調整前当期純利益が増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動の結果、使用した資金は264億円、前年度に比べて45億円(14.6%減)の支出の減少となりました。これは、有形固定資産の取得支出が減少したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動の結果、使用した資金は55億円(前年度は14億円の収入)となりました。これは、長期借入金の返済支出などによるものであります。

(4) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により現時点では合理的な算定が困難であることから、未定といたしました。当該業績予想の開示は、可能となった時点であらためて実施する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,062	9,376
受取手形及び売掛金	67,731	69,129
製品	4,029	4,456
仕掛品	11,551	12,223
原材料及び貯蔵品	5,041	6,148
その他	7,558	6,835
貸倒引当金	△61	△41
流動資産合計	103,912	108,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	72,301	71,906
減価償却累計額	△40,846	△42,208
建物及び構築物（純額）	31,454	29,698
機械装置及び運搬具	212,562	219,229
減価償却累計額	△167,573	△168,979
機械装置及び運搬具（純額）	44,989	50,249
工具、器具及び備品	62,775	68,301
減価償却累計額	△49,098	△57,660
工具、器具及び備品（純額）	13,676	10,640
土地	14,382	14,302
リース資産	21,638	18,828
減価償却累計額	△21,532	△16,556
リース資産（純額）	105	2,272
建設仮勘定	16,048	16,054
有形固定資産合計	120,657	123,218
無形固定資産		
ソフトウェア	846	912
その他	100	35
無形固定資産合計	946	948
投資その他の資産		
投資有価証券	13,533	12,232
長期貸付金	852	810
退職給付に係る資産	6,737	6,275
繰延税金資産	2,186	1,905
その他	1,414	1,149
貸倒引当金	△1,179	△1,149
投資その他の資産合計	23,544	21,222
固定資産合計	145,149	145,389
資産合計	249,061	253,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,535	51,459
電子記録債務	4,324	4,243
短期借入金	13,903	9,499
1年内返済予定の長期借入金	9,675	13,442
未払法人税等	436	742
未払消費税等	1,069	2,155
役員賞与引当金	67	39
未払費用	11,859	10,630
その他	7,293	9,735
流動負債合計	98,165	101,947
固定負債		
社債	12,000	12,000
長期借入金	49,253	45,534
繰延税金負債	4,666	6,004
役員退職慰労引当金	82	—
製品保証引当金	174	191
退職給付に係る負債	9,219	9,728
その他	288	1,623
固定負債合計	75,684	75,081
負債合計	173,850	177,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,820	16,820
資本剰余金	13,416	13,377
利益剰余金	27,886	33,348
自己株式	△152	△89
株主資本合計	57,970	63,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,168	4,445
為替換算調整勘定	1,909	△803
退職給付に係る調整累計額	708	381
その他の包括利益累計額合計	7,786	4,023
非支配株主持分	9,454	9,008
純資産合計	75,211	76,488
負債純資産合計	249,061	253,517

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	461,705	476,165
売上原価	431,533	442,415
売上総利益	30,172	33,750
販売費及び一般管理費	23,375	23,128
営業利益	6,797	10,621
営業外収益		
受取利息	123	100
受取配当金	326	314
作業くず売却益	295	245
持分法による投資利益	17	—
補助金収入	—	438
雑収入	633	544
営業外収益合計	1,396	1,644
営業外費用		
支払利息	876	917
固定資産廃棄損	289	366
持分法による投資損失	—	143
為替差損	137	634
雑損失	440	237
営業外費用合計	1,743	2,297
経常利益	6,449	9,968
特別利益		
関係会社清算益	—	623
投資有価証券売却益	86	2
特別利益合計	86	626
特別損失		
減損損失	362	—
投資有価証券評価損	14	253
特別損失合計	377	253
税金等調整前当期純利益	6,158	10,340
法人税、住民税及び事業税	1,024	1,361
法人税等調整額	968	1,939
法人税等合計	1,993	3,301
当期純利益	4,164	7,039
非支配株主に帰属する当期純利益	655	681
親会社株主に帰属する当期純利益	3,509	6,357

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,164	7,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△651	△724
為替換算調整勘定	△1,634	△3,039
退職給付に係る調整額	△39	△326
持分法適用会社に対する持分相当額	△340	△33
その他の包括利益合計	△2,665	△4,124
包括利益	1,499	2,915
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,427	2,595
非支配株主に係る包括利益	71	320

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	16,820	13,370	25,546	△151	55,585
当期変動額					
剰余金の配当			△894		△894
親会社株主に帰属する当期純利益			3,509		3,509
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減		46			46
持分法の適用範囲の変動			△275		△275
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	46	2,339	△0	2,385
当期末残高	16,820	13,416	27,886	△152	57,970

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,818	3,301	748	9,868	10,237	75,691
当期変動額						
剰余金の配当						△894
親会社株主に帰属する当期純利益						3,509
自己株式の取得						△0
連結子会社株式の取得による持分の増減						46
持分法の適用範囲の変動						△275
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△650	△1,392	△39	△2,081	△782	△2,864
当期変動額合計	△650	△1,392	△39	△2,081	△782	△479
当期末残高	5,168	1,909	708	7,786	9,454	75,211

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	16,820	13,416	27,886	△152	57,970
当期変動額					
剰余金の配当			△894		△894
親会社株主に帰属する当期純利益			6,357		6,357
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△39		63	23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△39	5,462	62	5,485
当期末残高	16,820	13,377	33,348	△89	63,456

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,168	1,909	708	7,786	9,454	75,211
当期変動額						
剰余金の配当						△894
親会社株主に帰属する当期純利益						6,357
自己株式の取得						△1
自己株式の処分						23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△722	△2,712	△326	△3,762	△446	△4,208
当期変動額合計	△722	△2,712	△326	△3,762	△446	1,276
当期末残高	4,445	△803	381	4,023	9,008	76,488

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,158	10,340
減価償却費	23,083	24,497
減損損失	362	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	62	△48
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	△27
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15	△82
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△10	17
受取利息及び受取配当金	△449	△415
補助金収入	—	△438
支払利息	876	917
有形固定資産廃棄損	287	370
持分法による投資損益 (△は益)	△17	143
関係会社株式清算損益 (△は益)	—	△623
売上債権の増減額 (△は増加)	1,618	△2,695
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,285	△2,737
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,992	2,688
未払消費税等の増減額 (△は減少)	358	1,118
その他	752	1,912
小計	26,830	34,937
利息及び配当金の受取額	618	532
利息の支払額	△862	△908
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,174	△759
補助金の受取額	—	219
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,410	34,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,230	△5
定期預金の払戻による収入	5,612	501
有形固定資産の取得による支出	△33,076	△26,598
有形固定資産の売却による収入	196	93
投資有価証券の売却及び償還による収入	368	2
その他	168	△437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,961	△26,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,114	△3,730
長期借入れによる収入	7,117	10,158
長期借入金の返済による支出	△12,544	△9,586
リース債務の返済による支出	△54	△538
社債の発行による収入	12,000	—
配当金の支払額	△893	△894
非支配株主への配当金の支払額	△981	△979
その他	△39	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,489	△5,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△357	△175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,419	1,828
現金及び現金同等物の期首残高	11,960	7,541
現金及び現金同等物の期末残高	7,541	9,370

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当連結会計年度の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度の連結貸借対照表において、「有形固定資産」が1,681百万円増加し、流動負債の「その他」が482百万円及び固定負債の「その他」が1,257百万円増加しております。また、従来投資その他の資産の「その他」に含めて記載しておりました土地使用権475百万円につきましては、当連結会計年度より「リース資産(純額)」に含めて記載しております。なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に自動車等車両部品を生産・販売しており、国内においては当社及び子会社が、海外においては北米、欧州及びアジアにおける各現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「アジア」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは主として、自動車等車両部品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	245,561	105,116	33,297	77,731	461,705	—	461,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,552	112	76	108	20,849	△20,849	—
計	266,113	105,228	33,373	77,839	482,555	△20,849	461,705
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,692	2,326	△909	2,928	7,037	△240	6,797
セグメント資産	156,864	59,317	20,766	40,635	277,584	△28,522	249,061
その他の項目							
減価償却費	15,872	3,273	980	3,035	23,160	△82	23,078

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△240百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△28,522百万円は、全社資産9,081百万円及び債権債務相殺消去等△37,603百万円が含まれております。全社資産は主に連結財務諸表提出会社の資金(現金預金及び投資有価証券)等
であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	248,347	99,745	29,185	98,886	476,165	—	476,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,860	703	36	268	16,869	△16,869	—
計	264,208	100,449	29,222	99,155	493,035	△16,869	476,165
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,108	1,591	763	3,354	10,818	△196	10,621
セグメント資産	151,099	60,226	20,926	46,322	278,574	△25,057	253,517
その他の項目							
減価償却費	16,295	3,464	883	3,971	24,615	△118	24,497

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△196百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△25,057百万円は、全社資産10,937百万円及び債権債務相殺消去等△35,994百万円が含まれております。全社資産は主に連結財務諸表提出会社の資金(現金預金及び投資有価証券)等
であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	734円90銭	753円80銭
1株当たり当期純利益金額	39円22銭	71円03銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	3,509	6,357
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	3,509	6,357
普通株式の期中平均株式数(千株)	89,478	89,507

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	75,211	76,488
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	9,454	9,008
(うち非支配株主持分)(百万円)	(9,454)	(9,008)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	65,756	67,479
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	89,477	89,519

(重要な後発事象)

当社におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による政府等からの要請や、主な得意先である自動車メーカー各社の新車需要の低迷に伴い、4月以降に稼働調整を行っており、製品の売上高の減少の影響が生じております。また、海外における外出禁止措置等や新車需要低迷による得意先の稼働調整に伴い、4月以降も一部の現地法人において操業停止や稼働調整を行っており、当社グループの北米、欧州、アジアといった各報告セグメントにおきましても、製品の売上高の減少の影響が生じております。提出日現在におきまして、これらの環境下においては、新型コロナウイルス感染症の収束の時期は未だ不透明であり、経済活動への影響を予測できない状況となっております。このため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による稼働調整や操業停止の影響は、翌期以降の当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があります。影響額につきましては、提出日現在におきまして、合理的に算定することが困難であります。

2020年3月期 決算参考資料

【連結】

1. 当期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	2020年3月期 (2019.4~2020.3)		2019年3月期 (2018.4~2019.3)		増減	増減率
売上高	(100.0%)	476,165	(100.0%)	461,705	14,460	3.1%
営業利益	(2.2%)	10,621	(1.5%)	6,797	3,824	56.3%
経常利益	(2.1%)	9,968	(1.4%)	6,449	3,518	54.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(1.3%)	6,357	(0.8%)	3,509	2,848	81.2%
1株当たり純利益		71円03銭		39円22銭		
設備投資		27,385		41,347	△13,961	△33.8%
減価償却費		24,497		23,078	1,419	6.1%
為替レート(1USドル)		108.7円		110.9円		
連結子会社数		22社		23社		

(注) ()内は売上高比率を表示

2. 営業利益増減要因(対前期比)

(単位: 億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
製品構成変動等	31	売価変動	22
合理化改善	24	減価償却費の増	14
部品事業売上増による利益の増	21	部品事業以外の利益の減	2
計	76	計	38
差引		営業利益の増	38

3. セグメント別業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

		2020年3月期 (2019.4~2020.3)		2019年3月期 (2018.4~2019.3)		増減	増減率
			利益率		利益率		
日本	売上高	264,208		266,113		△1,905	△0.7%
	営業利益	5,108	1.9%	2,692	1.0%	2,415	89.7%
北米	売上高	100,449		105,228		△4,779	△4.5%
	営業利益	1,591	1.6%	2,326	2.2%	△734	△31.6%
欧州	売上高	29,222		33,373		△4,150	△12.4%
	営業利益	763	2.6%	△909	△2.7%	1,672	-
アジア	売上高	99,155		77,839		21,315	27.4%
	営業利益	3,354	3.4%	2,928	3.8%	426	14.6%
消去	売上高	△16,869		△20,849		3,980	
	営業利益	△196		△240		44	
合計	売上高	476,165		461,705		14,460	3.1%
	営業利益	10,621	2.2%	6,797	1.5%	3,824	56.3%

4. 来期の業績予想

【個別】

1. 当期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

来期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により現時点では合理的な算定が困難であることから、未定といたしました。当該業績予想の開示は、可能となった時点であらためて実施する予定です。

	2020年3月期 (2019.4~2020.3)		2019年3月期 (2018.4~2019.3)		増減	増減率
売上高	(100.0%)	262,642	(100.0%)	263,845	△1,203	△0.5%
営業利益	(1.5%)	3,927	(0.7%)	1,807	2,120	117.3%
経常利益	(2.4%)	6,304	(2.0%)	5,400	904	16.7%
当期純利益	(1.5%)	3,914	(1.7%)	4,364	△450	△10.3%
設備投資		12,798		22,967	△10,168	△44.3%
減価償却費		15,065		14,656	408	2.8%

(注) ()内は売上高比率を表示